



高齢者を見守る方へ



高齢者の反応

水害により、日常が崩壊し、住み慣れた場所を離れ、新しい事態に適応しなければいけないことは、高齢者にとって大きなストレスとなります。

今まで生きてきたそれぞれの生活歴によって、こころの変化も違ってきますが、一瞬にしてすべてを失った高齢者が生活を再建していくことは、心身ともに容易なことではなく、不安、不眠、抑うつ、一時的な痴呆などの症状がでることもあります。地震以降、以下のような兆候は見られませんか？

- ぼんやりしている・反応がない
- 身体の不調を訴えるようになった
- 不安そうである
- イライラ感が強く、怒りっぽくなった
- 急に物忘れなどがひどくなった
- ささいな音や揺れに敏感に反応する
- 夜眠れない
- 食欲が明らかに減った
- 夜間うろうろと徘徊する



高齢者への対応の注意点

- 声をかけ名前を呼び、今の状況をわかりやすく話します。
- よく話を聞き、気持ちをくんであげます。
- できるだけ水害前の人的交流を保てるよう配慮します。
- 心身の状態に注意します。

何かの変化に気づいたら、

地域包括支援センターや、担当ケアマネがいる方はケアマネへ相談しましょう。
* 関川村役場 健康福祉課 介護・高齢福祉班（地域包括支援センターせきかわ）
☎ 0254-64-1473 （直通）